

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成27年度分）

団体名：宇治田原町

プロジェクト名	未来を担う子どもたちの健全育成プロジェクト	実施期間	平成27年度～	テーマ	その他（子どもたちの健全育成）	新規・継続の区分	継続
地域における現状、課題及び住民ニーズ	全国的に子どもたちの学力や身体能力の低下が指摘されるほか、本町においても核家族化の進行や地域で子どもを育てるという意識が希薄になるなど、子どもたちを取り巻く環境が変化している中、子どもたちの健全育成は未来への投資として積極的に取り組むべき課題となっている。 また、若い世代ほど将来的に宇治田原町を出たいと考えている割合が多い傾向にあることから、定住を促進し、まちの活力を維持するためにも、生まれ育ったふるさとへの愛着を育むことが重要となっている。						
プロジェクトの目的及び概要	人材育成こそが未来への最大の投資であるという観点から、学力充実はもとより、心豊かな子どもを育む道徳教育の実施など、教育環境の充実に積極的に取り組む。 特に、安心して安全な保育・教育環境の確保や、日本緑茶発祥の地という特色を持ったふるさと宇治田原への郷土愛を育む教育の充実に力を入れている。						
	総事業費（千円）	29,838	本年度事業費（千円）	29,838	交付金額（千円）	6,861	
プロジェクトを構成する事業の平成27年度事業実績（出来高数値等）							
事業分類	事業名	事業種別	事業概要			主な実績（出来高数値等）	
	学校施設環境整備事業	交付対象事業	学校施設・設備の改修を実施し、安全で快適な学習環境を確保する。			<ul style="list-style-type: none"> ○小・中学校施設・設備の整備 ・田原小学校 冷暖房機器更新及び電気設備修繕工事等 3件 ・宇治田原小学校 昇降機修繕工事、教室扉修繕工事等 5件 ・維孝館中学校 冷暖房機器修繕工事等 2件 	
	小中一貫教育推進事業	交付対象事業	協議会の設置、コーディネーター教員の配置等を行い小中一貫教育を推進する。			<ul style="list-style-type: none"> ○コーディネーター教員の配置 1名 ○各学校ごとの教職員の交流を行う中で、合唱交流会、小学生駅伝大会の練習指導、音楽専科教員による指導等を実施。 ○小・中学校連携部において(学び、ふるさと、交流、生徒指導、支援、人権、養護、事務)の研究・実践を実施。 ○共通のテーマによる全学校での研究を推進。 	
	社会科副読本「わたしたちの宇治田原」作成事業	交付対象事業	伝統文化や特産品であるお茶の学習を通じ、ふるさとへの愛着を育む学習教材を作成。			<ul style="list-style-type: none"> ○社会科副読本「わたしたちの宇治田原」の作成 宇治田原町のことをよく知り、豊かで住みよいわたしたちのまち宇治田原町を再認識できる副読本として作成 ・B4版 500部 	
	学力充実事業	交付対象事業	補助教員の配置等により、児童生徒一人ひとりの習熟度に合わせたきめ細かい指導を実施する。			<ul style="list-style-type: none"> ○補助教員配置 3名(小学校2名、中学校1名) ○学力診断テストの実施 ・実施科目 国語・算数(全学年) ・対象児童・生徒数 田原小学校 243人 宇治田原小学校 238人 維孝館中学校 297人 	

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成27年度分）

団体名：宇治田原町

市町村 実施事業	特別支援教育充実事業	交付対象事業	発達障がいのある児童に対して、適切な教育的支援を行うため、補助教員を配置。	○特別支援補助教員配置 小学校 2名 ※特別支援教育コーディネーターとして、教育相談や関係機関との連携等の充実、児童生徒一人ひとりの指導計画・特別支援計画の作成など、一人ひとりの状況に応じたきめ細かな指導を実施。
	スクールバス運行事業	交付対象事業	バス路線のない山間部から長距離通学する児童生徒の安全を確保するためスクールバスを運行。	○奥山田、湯屋谷地区の児童・生徒の安全な通学手段確保のため、スクールバスを運行。 ・スクールバス 小学校・中学校 各1台 運行
	英語力向上推進事業	交付対象事業	英語力の向上を図るため、中学生対象の英語検定(受検費用無償)を実施。	○希望者に一人1回分の受験費用の支援を行ったほか、受験に向けた学習会を夏休み及び冬休みに実施。 ・合格者数 準2級 1名 3級 39名 4級 62名 5級 67名
	豊かな人間性を育む保育所学び事業	交付対象事業	保育所児と保護者を対象とした道徳教育の場を定期的に開催。	○保育所での道徳教室の開催 ・講演会、人形劇、親子お茶会等 計15回開催 ・保護者参加 計226名
	宇治田原ふるさと文化賞実施事業	関連事業	町内小・中学生を対象に「私たちの宇治田原」をテーマにした俳句コンクールを開催。	○俳句コンクールの実施 ・テーマ:「私たちの宇治田原」 ・対象:町内在住の小・中学生 ・応募人数:373人(小学校:268人・中学校:105人) ・応募句数:868句(小学校:658句・中学校:210句)
	外国人青年招致事業	関連事業	児童生徒が英語や異文化に触れることで国際感覚を身につけられるよう、英語指導助手(ALT)2名を配置。	○英語指導助手(ALT)の配置 ・英語指導助手(ALT) 2人 ・平成27年度指導実績 中学校 190日 小学校 107日 保育所 9日 幼稚園 11日 延べ317日間
地域で子どもを見守る推進活動事業	交付対象事業	登下校時の児童生徒の安全を守るため、住民ボランティアによる見守り活動や児童への防犯グッズ貸与を実施。	○登下校時の「見守り安全パトロール隊」の活動支援及び小学生への防犯グッズの貸与を実施	
	小学校安心安全対策事業	交付対象事業	小学校への不審者侵入等を防ぐため巡視員及び緊急通報システムを配置。	○各小学校に学校安全巡視員を配置したほか、緊急通報装置を運用し、小学校児童の安全を確保した。

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成27年度分）

団体名：宇治田原町

住民協働事業	中学生ふれあいサポーター配置事業	交付対象事業	落ち着いた学習環境を維持するため、京都府警スクールサポーターと連携した見守り巡回活動を実施。	○中学生ふれあいサポーターの配置 ・サポーター人数：2人 ・回数：週4日 ・時間：1日4時間 ・延べ出役回数 245回	
	保育所安心安全対策事業	交付対象事業	保育所への不審者侵入等を防ぐため安全巡視員を配置。	○保育所に安全巡視員を配置し、保育所児童の安全を確保した。	
	茶の里っ子を育む学習事業	関連事業	茶摘み体験やお茶検定など、日本緑茶発祥の地ならではの特色ある授業を実施。	○総合的な学習の時間において、社会人講師を活用し、茶摘み体験、茶香服などを実施 ○お茶検定合格者 3級(小4) 87人 2級(小6) 93人 1級(中3) 98人	
	放課後子ども教室推進事業	関連事業	地域ボランティア等の協力のもと、放課後に子どもたちが安心して過ごせる居場所づくりを行う。	○放課後子ども教室の開催 ・実施日：毎週水曜日(年間22日実施) ・参加児童：田原小…延べ695人 宇治田原小…延べ695人	
成果指標①	成果指標の目標数値	・宇治田原ふるさと文化賞の応募者数：357人以上（H26年） ・お茶検定の合格率：100%（合格者267人）（H26年）		成果指標の実績値（○年○月○日時点）	・宇治田原ふるさと文化賞の応募者数：373人（H27年） ・お茶検定の合格率：100%（合格者278人）（H27年）
	成果指標の達成状況	◎	（左の理由）	小・中学校での取組の推進により目標どおりの成果を挙げることができ、子どもたちが地元について理解を深め、ふるさと宇治田原に対する愛着を培うことができた。	
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		（理由）		（時期）
成果指標②	成果指標の目標数値	中学校英語検定の受験者数：296人以上（H26年）		成果指標の実績値（○年○月○日時点）	中学校英語検定の受験者数：288人（H27年）
	成果指標の達成状況	○	（左の理由）	中学校の生徒数自体の減少もあり、受験者数は目標値に至らなかったが、夏休み・冬休み期間での学習会の開催等により169名の英検合格者を輩出することができ、英語力向上に一定の成果があったと考えている。	
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		（理由）		（時期）
本年度の事業実績が成果指標の達成に与えた効果	快適・安全な学習環境の整備はもちろんのこと、地域の伝統文化・産業に対する理解を深め、子どもたちの地域への愛着を深める取組や、本町の実情に応じた小中一貫教育の推進、また国際社会への適応力を養うための英語教育の充実など、本町ならではの特色ある教育環境実現の推進に取り組み、将来のまちづくりを担う人材育成に効果があったと考えている。				
※未達成の場合も効果を記載すること	※未達成の場合は、成果指標の達成に向けた今後の対応方策についても記載すること。				

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成27年度分）

団体名：宇治田原町

本プロジェクトに対する自己評価	関連事業との連携効果	みらい戦略一括交付金を活用した事業と町の単独事業等とを組み合わせ、プロジェクトとして一体的に推進することで、子どもたちの健全育成につながる成果を効果的に挙げる事ができた。
	府と市町村等との連携に資する成果	
	住民の自治意識を高める成果	放課後子ども教室や登下校時の「見守り安全パトロール隊」は住民ボランティアの参画を得て実施しており、子育て施策を行政だけではなく住民と協働して進めていくことで、住民のまちづくりへの参加意識向上につながっている。
	リーディング・モデル成果	
	広域的波及成果	
	行財政改革に資する成果	
	その他の成果	保育所からの道徳教育の推進や、生まれ育ったまち宇治田原に対する理解を深める教育に特に力を入れており、情操性豊かでふるさとに対する愛着を持った人材の育成が、将来のまちづくりの礎になると考えている。

（記載要領）

- 1 プロジェクトごとに本様式を作成し、評価すること。
- 2 記載欄が不足する場合は、適宜追加すること。
- 3 事業種別については、交付対象事業又は関連事業の別を記載すること。
- 4 成果指標の達成状況は、目標数値を上回ったときは◎、目標数値の近似値であるときは○、目標数値を下回ったときは△、判断できないときは—を記載すること。